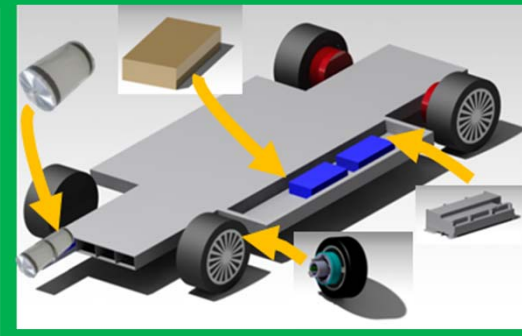


「カーボンニュートラルとSDGsのためのエネルギー、自動車研究会」のご案内



SDGsとカーボンニュートラル

- カーボンニュートラルは温暖化問題解決のために2050年までに達成すべき政府の目標です。
 - CO2の20%は車から、40%が発電から排出されています。
- SDGsは国連が定めた2030年まで地球に住む人々が、安心、安全で、豊かな暮らしができる目標です。
 - 17の目標の内、エネルギーに関するものが多くを占めています。
- 電気自動車化と再生エネルギー化によって、大きな社会変化が起こります。
 - 社会変化が有利に働く企業と、大きなダメージになる企業があります。

**変化の流れに乗り、あらゆる企業が利益を受けられるようにビジネスチャンス
を掴み、実行することが重要です。**

e-Gleの情報交流事業

- 株式会社e-Gleの代表取締役の清水浩は電気自動車について40年、自動運転には20年、再生可能エネルギーについては30年の研究開発の歴史があります。
 - 国内外を問わず、知識と経験の蓄積においては類を見ない水準です。
- 情報交流事業は株式会社e-Gleが、2014年から続けてきた試みでした。
 - 中立的な立場上、新しい情報が集まり易い環境にありました。
- 2022年度からより広く、利用可能な情報をお届けするためにリニューアルしました。
 - 独自の情報発信、広く社会全体の専門家をお招きして行う講演会、会員様同士の直接の話し合いによる交流を行うことを特徴とします。
 - このため、技術の専門家はもとより、企画、新規事業担当の方々にご参加頂くと、大きな価値があると考えております。

**温暖化問題を解決し、SDGs達成に貢献し、それを日本の大きな産業に育成することを目標に、激変が始まった自動車とエネルギー産業に関する
実用的かつ実利的情報を共有することが目標です。**

目的

1. カーボンニュートラルを実現するための技術とその開発に関するの情報提供。
その情報には、株式会社e-Gleが独自に生み出したもの、多くの企業、研究機関、大学で生まれたもの、政府の方針等が含まれます。
2. 参加機関がそれをもとに新しいビジネスを生み出すことの支援。
それによって、例えば新しい技術の導入によって打撃を受ける業種でも、新たな事業を起こすことが可能になります。
3. 参加機関同士の交流の中から新しい価値を生むことの支援。
これで、お互いのシナジーが新たな価値を生み出すことが期待されます。

内容

1. カーボンニュートラルとSDGsを達成するための技術に可能性の情報をお届けします。
2. その達成について、産官学の専門家に講演の形でお招きして伺います。
3. 参加機関様同士がシナジーを持ち新しいことが始められるための交流の機会を設けます。

実施方法

1. 集まりは当面年4回とし、6月、9月、12月、3月の第3週目の金曜日の午後といたします。参加機関様のご要望に応じて、回数を増やすことも致します。
2. 参加者は原則として一社2名様でお願いします。人数はフレキシブルに対応いたします。
3. 場所は新川崎にある慶応大学新川崎キャンパスないしは、新川崎のかわさき新産業創造センター会議室とします。

会費

会費は1回あたり、5万円です(税別)です。請求書を発行させていただきます。
お茶会の実費(約2000円)は別途お願いします。

参加機関

参加機関様は規模の大小、分野、技術系、非術系を問いません。技術的に難しいことは、わかりやすくご説明します。

多くのご参加をお待ちしております。

商号	株式会社e-Gle
設立	2013年9月
本社所在地	神奈川県川崎市幸区新川崎7-7(かわさき新産業創造センター205)
代表取締役社長	清水 浩(慶応義塾大学名誉教授)
事業内容	1. 環境改善及びエネルギー削減を目的とした商品の設計、開発及びその販売 2. イベントの企画、制作および運営、講演会、交流会、セミナー等の開催 3. 知的財産の管理及びライセンス
連絡先	電話 044-589-8333 e-mail: project@e-gle.jp

情報交流事業

「カーボンニュートラルとSDGsのためのエネルギー、自動車研究会」 の内容

電気自動車

電気自動車将来への展望
要素部品開発
プラットフォーム、車体技術開発

自動運転

センサー技術、制御技術
普及のためのインフラ技術
実現のための法規制等

スマートエネルギー

スマートエネルギー普及ビジネスモデル
スマートエネルギービジネス例の紹介
スマートエネルギー普及のための企業間連携

再生可能エネルギー

新しい太陽光発電技術
利用技術開発
普及法の展望

共同事業等への発展へ。

情報交流事業

「カーボンニュートラルとSDGsのためのエネルギー、自動車研究会」の ご参加について

■ 進め方

- 会場とオンラインの双方でご参加いただけます。
- 1回のセッションは2-3を準備します。
- 参加企業様間での話し合いの場のためのワークショップと終了後のお茶会の形で設けます。

■ 参加企業様の特典

- 最新でかつ技術に裏付けられた情報が共有できます。
- 株式会社e-Gleの技術開発の成果を共有でき、技術開発に参加することも可能です。
- 参加企業様間での情報交流から現実的ビジネス交流の機会があります。

新しい事業の探索、推進、拡大のための重要な情報が得られます。
参加企業様の機密は守ります。

■ 情報交流事業の参加に関しまして

1. ご参加の意向があれば、株式会社e-Gleにコンタクトを取って頂き申し込みをお願いします。
2. 会費は当日あるいは銀行振り込みでお願いします。
3. 別途、共同研究、コンサルティング等を受け付けます。

温暖化の脅威と対策

地球温暖化は現実の被害が明らかになり、だれもが危機と感ぜられる時代になりました。その原因は化石燃料を燃焼させエネルギーを得ることにより発生するCO2です。温暖化問題の解決のためにカーボンニュートラルが求められています。これを実現するにはCO2の排出源を抑えることが必須です。

SDGsへの対応

SDGsの目標に掲げられている項目に、化石燃料の消費をなくし、かつ大量のエネルギーの使用が可能になると解決出来る問題があります。十分なエネルギーが平等に使えば、水を引けます。食糧生産が盛んになります。すると、子どもが誰でも教育を受けられるようになります。その結果、工業生産も盛んになるという好循環が生まれます。

主なCO2発生は発電と自動車から

発電、自動車が主要な排出源です。これに、製鉄とセメント製造が加わります。そのほかは昔からの火を燃やして熱を得ることで発生しています。

20世紀末に発明された主要技術

太陽電池は地球上のすべてのエネルギーを賄っても大きく余る能力があります。そのためには、広い面積が必要です。この面積をいかに確保するかが、最も重要なことです。また、蓄電も必要です。

十分な電気エネルギーが得られれば、車も、製鉄も、熱利用もこれで賄えます。

21世紀の、日本に住む我々が幸運なことは発電し電気自動車を走らせるための基本技術の発明は20世紀末に日本で行われ、一部利用が始まるまで成熟していることです。すると、カーボンニュートラルとSDGsの目標はこれらを社会に受け入れられる製品として開発し、生産を行い、世界中に普及させることで達成が可能になります。

地球全体への普及へ

第一ステップとして、0から1を生み出す大きな発明がありました。第二ステップは1から10にするための試作品の開発があります。清水浩はここに40年関わってきました。そして、将来の見通しができました。第三ステップは10から100、千、万、億とするために商品開発、生産、普及です。ここに多くの人々の知恵と、努力と莫大な費用が掛かります。企業の活動、政策の動員、利用者の理解があつて目標達成に向かうことになります。

カーボンニュートラルとSDGsのためのエネルギー、自動車研究会の目標

本研究会は第三ステップの10からの拡大を参加企業の皆様と理解しあい、協力し合い、大きな力として実現を目指すことを目標にしたいと考えております。それが、参加企業様の大きな利益にもなると確信しております。

どうぞ、皆様のご関心とご参加をお願いいたします。

株式会社 e-Gle 情報交流事業

カーボンニュートラルと SDGs とためのエネルギー、自動車研究会 テーマと日程案

第1回 カーボンニュートラルと SDGs を実現する基本方針

6月17日（金）1時から4時半 場所；新川崎 AIRBIC 1階第1会議室

- ① 本交流会の開始にあたって（e-Gle 担当+ご参加の皆様のご意見もお伺いしたいと存じます）
- ② SDGs とカーボンニュートラルを現実的シナリオ（e-Gle 担当）
- ③ 行政の動き（元、環境省次官に依頼中）
- ④ ワークショップテーマ案；

e-Gle の提案シナリオへの妥当性、反論、自社で行う場合の可能性
終了後、AIRBIC レストランでお茶会を催します。会費 2000 円

第2回 電気自動車の時代についての最新情報

9月16日（金）1時から4時半。場所；新川崎 AIRBIC 1階第5～8会議室

- ① 電気自動車化の世界的流れ（自動車評論家に依頼予定）
- ② e-プラットフォームへの動き（e-Gle 担当）
- ③ 道交法の改正と超小型モビリティの将来（警察庁関係者に依頼予定）
- ④ ワークショップテーマ案；

電動化の世界的流れに対する自社の動き、目標、対応
終了後、AIRBIC レストランでお茶会を催します。会費 2000 円

第3回 電気自動車用要素技術の最新情報

12月16日（金）1時から4時半。場所；新川崎（会場の予約が取れ次第、お伝えします）

- ① NdFeB 磁石の最新情報（佐川真人様に依頼予定）
- ② リチウムイオン電池の最新情報（吉武先生に依頼予定）
- ③ インバーター用トランジスタの最新情報（e-Gle 担当）
- ④ ワークショップテーマ案；

要素技術に対する自社が関与したい分野、アライアンスの可能性、独自開発の可能性
終了後、AIRBIC レストランでお茶会を催します。会費 2000 円。

第4回 カーボンニュートラルのための化石燃料を使わないエネルギー供給システムの最新情報

3月17日（金）1時から4時半。場所；新川崎（会場の予約が取れ次第、お伝えします）

- ① 総合エネルギー供給システムの基本構想（e-Gle 担当）
- ② 薄膜型 CIS 太陽電池の最新情報（CIS 太陽電池開発企業様に依頼予定）
- ③ ペロブスカイト型太陽電池の最新情報（ペロブスカイト太陽電池開発専門家様に依頼予定）
- ④ ワークショップテーマ案；

総合的エネルギー供給システムに対する妥当性、問題点、自社関与の可能性
終了後、AIRBIC レストランでお茶会を催します。会費 2000 円。